

協定相手校

駒沢女子大学（国際交流）

1. イフザサク国際大学（モンゴル国）

2004年に駒沢女子大学（以下「本学」という。）と国際交流協定を締結したインターマネージメント大学が、2008年にイフザサク大学に合併されたため、2009年3月に、改めて本学とイフザサク国際大学間で国際交流協定を締結した。

2009年からは、本学の国際協力実習の実習生とイフザサク国際大学の日本語学科学生との交流が始まり、2011年と2013年に、イフザサク国際大学から本学大学院日本文化研究科修士課程に留学生1名を受け入れ、両名が修士号を取得した。2017年4月に大学院仏教文化研究科修士課程に1名の学生が入学した。

また、2007年に本学がインターマネージメント大学に設置したテレビ会議システムは、イフザサク国際大学に移設され、2009年からは毎週火曜日に90分授業を同大の日本語学科の学生に本学から提供することにより、日本語能力向上に寄与した。2013年には同大の日本語学科が志願者減のため廃止されたが、第二外国語として日本語を学ぶ学生の日本語能力向上のため、テレビ会議を使い、本学学生でモンゴルでの国際協力実習（2017年度実施）履修者との会話の時間を提供した。2022年3月にイフザサク国際大学の日本語担当教員より、インターネットを使用した同大日本語履修学生への日本語会話授業の再開依頼があり、交流は続いてきた。

2024年5月に同大学創立30周年記念国際シンポジウムに本学教授がゲストスピーカーとして招聘された。また、同月、国際交流に関する「包括協定」を締結した。

同年10月の同大学創立30周年記念フォーラムへの招待を受け、本学理事長と事務局長が訪問し、交流を深めた。翌11月には本学が国際部長と日本語担当教員を日本に招待し、新たに「交換留学協定」を締結した。

2. アユタヤ・ラチャパット大学（タイ王国）

本学は2006年以来、タイのアユタヤ・ラチャパット大学との間で相互に研修を受け入れる国際交流を行っており、2018年度から新たな国際交流協定が締結され現在に至っている。駒沢女子大学側の短期研修は、本学人間総合学群の国際協力実習としてアユタヤ・ラチャパット大学およびタイ国内の研修地で行われてきた。また、アユタヤ・ラチャパット大学側も5月に駒沢女子大学で短期研修し、本学の授業の受講、学生交流、都内研修等、さま

ざまなメニューが行われてきた。

コロナ禍では、相互の往来は一時中止されたが、2024年2月には zoom を用いて、また2025年3月には Meet を使って両大学の交流を実施した。この交流は、アユタヤラチャパト大の日本語を学ぶ学生が「タイの社会問題」について日本語で発表を行い、その後これらの発表に対して質疑応答を行うものである。活発な意見交換がなされ、いずれも40名前後の学生・教員が参加した。

3. 世宗大学（韓国）

本学は2024年7月に韓国ソウルにある世宗大学と新たに「国際交流に関する包括協定」及び「交換留学協定」締結した。2025年3月に双方の大学で交換留学生の募集が始まり、2025年秋学期から本学学生2名を交換留学生として世宗大学の英語クラスに派遣することが決定した。



4. モンゴル文化教育大学（モンゴル国）

本学は2024年10月にモンゴル文化教育大学と「国際交流に関する包括協定」を新たに締結した。2025年4月には、モンゴル文化教育大学附属高等学校の生徒、同大理事長および日本語担当教員30名が修学旅行で来日し、本学において坐禅や茶道などの日本文化体験をし、交流した。

また、2025年8月には、本学の国際協力実習の授業において、モンゴル文化教育大学が

主催するモンゴル環境研修（短期研修）に参加する予定である。

5. 東義大学校（韓国）

本学は2026年1月26日、韓国・釜山に所在する東義（ドンイ）大学校と国際学术交流協定を締結した。協定式は東義大学校本館のグローバル会議室で行われ、両大学の学長・教職員が出席し、今後の連携強化について意見を交わした。

本協定により、短期語学研修などの学生交流プログラムや共同研究プロジェクトなど通じて、教育、研究の発展に寄与していく。



駒沢女子大学（高大連携）

1. 東京都立若葉総合高等学校

令和8年1月26日、東京都立若葉総合高等学校と駒沢女子大学は、高等学校教育と大学教育の連携及び地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的として、高大連携協定を締結しました。

両校は、相互に連携し、交流を深めることにより、教育内容の充実と学生及び生徒の資質向上を図るための以下の事業を推進していきます。

- (1) 模擬授業、研究室訪問及び探究活動の連携
- (2) 社会貢献活動、課外活動における交流

- (3) 教育についての情報交換及び交流
- (4) その他、双方が協議し同意した事項



駒沢女子短期大学（高大連携）

1. 東京都立若葉総合高等学校

駒沢女子短期大学は、高等学校教育と短期大学教育の連携及び地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的として、2025年4月に東京都稲城市にある東京都立若葉総合高等学校と「高大連携に関する協定」を締結した。

本協定締結以前より、交流が続いていたが、協定締結により「模擬授業や研究室訪問及び探究活動の連携」「社会貢献活動や課外活動における交流」「教育についての情報交換及び交流」など、さらに連携が強化されることになる。